昭和40年4月5日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

2021年1月1日発行
第615号（通算）
発行：奇数月1日
会員購読料：1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者
一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
佐藤　均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号　730−8631
電話　082−293−1511番
振替口座01380−2−27511
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

日常的な感染予防活動を宣言

第61回広島県公衆衛生大会を開催

第61回広島県公衆衛生大会は、11月26日（木）にコジマホールディングス西区民文化センターで県内の公衆衛生推進委員など、例年の半数の270人が参加して開催しました。

新型コロナウイルス感染対策としてマスクの着用、検温、手指の消毒をして、県知事表彰、広島県医師会長表彰ならびに、地区衛生組織活動に多大なる貢献をした個人52人、団体7団体に、広島県副知事、広島県医師会長、環保協理事長からそれぞれの功績を称え、表彰状を贈呈しました（**表彰者名は6面参照**）。

式典の最後に大会宣言（案）を地区衛生組織代表者会議の今津議長が読み上げ、会場からの大きな拍手で採択されました。

今年の大会宣言は、世界的に新型コロナウイルス感染症がまん延したこともあり、従来のごみ減量、脱温暖化のまちづくり、防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動などに加え、「日常的な感染症の予防活動（手洗い、うがい、マスク着用）の推進」を掲げ、公衛協が今後どのような役割を担っていくのかを盛り込みました。

大会宣言の8つの項目は、これから1年間の公衛協活動を行っていくための重要なテーマとなります（**6面参照**）。

コロナ対策の換気による休憩の後、「環境と健康のポスター・標語コンクール」優秀作品表彰式を行いました。今年度は最優秀賞と開催地の広島市近隣の市町の優秀賞を受賞した23人の児童・生徒が出席しました。

表彰式では、緊張しながらもしっかりと表彰状とトロフィーを受け取り、最後の受賞者全員での記念撮影は保護者や公衛協の皆さんに笑顔を向けていました。

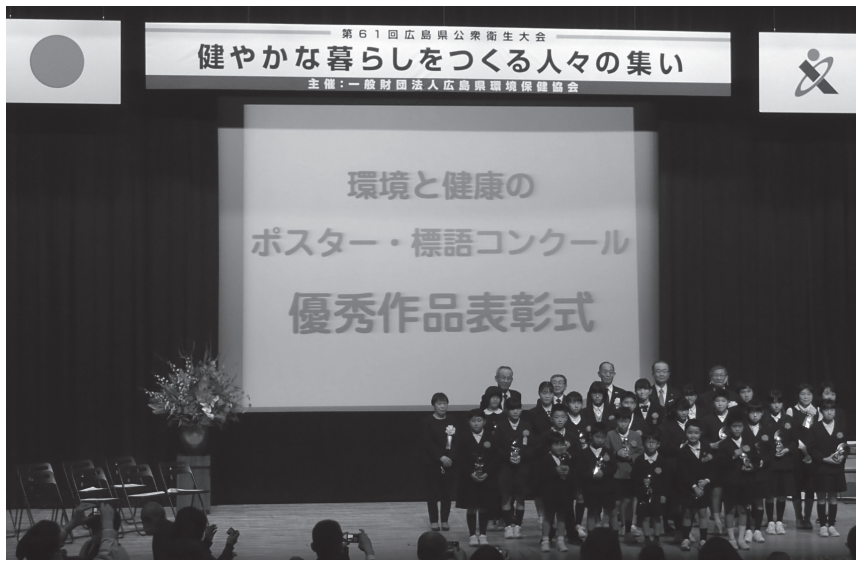
選考委員長による講評

令和2年は誰も予想しない特別な年でした。新型コロナウイルス感染症防止対策の一斉休校後、環境と健康のポスター・標語コンクールに参加校がどれほどあるだろうかと心配しました。しかし、各地区公衆衛生協議会の皆さまと各学校の熱意により、ポスターは8千569点、標語は1万4千289点もの応募があり、心よりお礼を申し上げます。

その中で、作品にも新しいものが出てきました。「ポイ捨てはやめよう」「自然を大切に」「3Rに取り組もう」「早寝早起きしよう」「歯磨きしよう」といった作品も多かったのですが、やはり、マスクに手洗い、ソーシャルディスタンスをテーマにしたものが目立ったように思います。また、レジ袋有料化から「マイバッグを使おう」というもの、海洋プラスチックの問題を取り上げている作品も多くありました。このように今起きている問題を考える視点は大切にしたいと思います。さらには、自分なりの切り口をみつけるとユニークな作品になると思います。

ポスターでは、自分の考えをわかりやすく人に伝えようとするものや、見る人を明るい気持ちにさせるような作品と、標語では、家族や友達、自分の住む地域や世界を思うものがよかったと思います。子どもの心はきちんと育っていると嬉しくなりました。

さて、来年はどんな作品が届くでしょうか。自分が大切だと思うことをポスターや標語にして送ってください。お待ちしています。



受賞者、プレゼンター、選考委員の一同で記念撮影

新年のご挨拶

理事長　佐藤　均

**あけまして
おめでとうございます。**

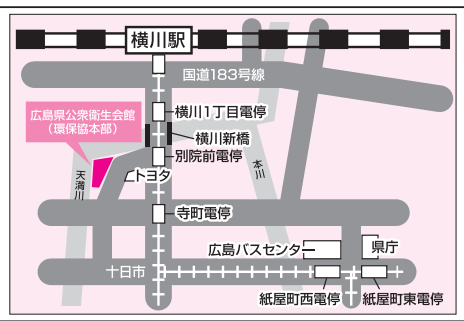
公衆衛生推進委員の皆さまを始め、環境と健康の課題に取り組んでいただいている皆さまには、平素から地域に根付いた活動を通じて、県民の健康づくりと住みよい環境づくりにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

2020年は新型コロナウイルス感染症にほんろうされた1年でした。一時落ちついていた感染者の発生が12月に入り急増しており、引き続き慎重な対応が求められております。

11月に開催しました第61回広島県公衆衛生大会では、大会宣言に「防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進」に加えて「日常的な感染症の予防活動（手洗い、うがい、マスク着用）の推進」を掲げました。大規模自然災害発生時や、今回のような感染症が拡大する状況にあって、公衆衛生を標ぼうして活動するそれぞれの公衆衛生推進協議会には地域を守るための積極的な取り組みが求められていると思います。公衆衛生推進委員の皆さまには、引き続きご協力を賜りたいと存じます。

さて、新たな年を迎え、ワクチンの接種が始まり、新型コロナ感染が縮小することを願うばかりです。当協会はウィズコロナ・アフターコロナを見据えて既存の事業を発展させながら、新たな付加価値を生み出せる分野を開拓し、SDGsの目標達成に向けた取り組みも着実に進め、社会の発展に寄与することとしております。

また、2023年度からスタートする第2次経営ビジョンづくりをスタートさせています。63年の歴史を振り返り原点に立ち返り、今日の礎を築き上げた先人の高い理想と熱き情熱に思いをはせ、10年20年先にも輝く環保協であり続けるための、夢のあるビジョンを策定したいと考えています。

最後になりましたが、協会運営に引き続きご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆さまのご発展とご健康をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511 ［大代表］ FAX:082(293)1520
かんほきょう 検索
基本理念 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。